
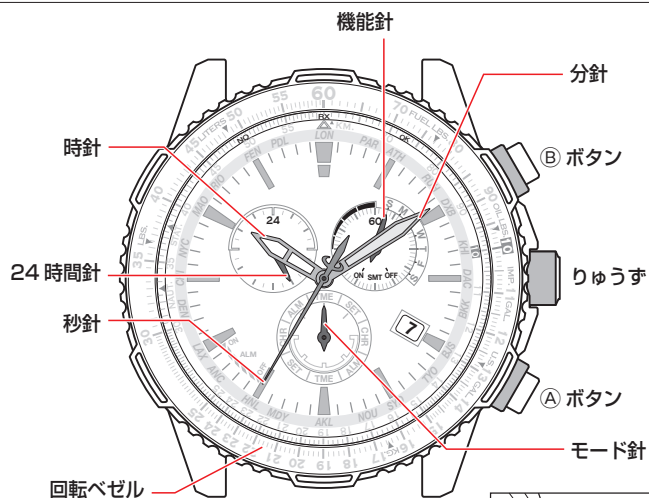


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  E660 取扱説明書

各部の名称

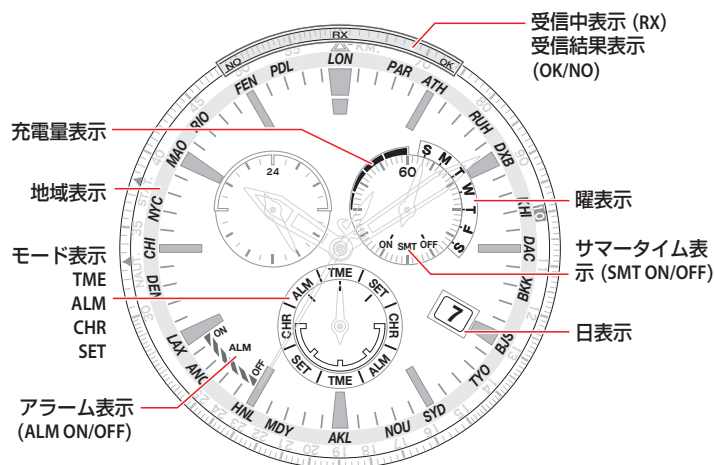
針とボタン



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。



表示



充電量を確認する

充電量表示で現在のおおよその充電量を確認できます。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が [TME] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **A** ボタンを押す
機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果を表示します。

レベル	3	2	1	0
表示				
持続時間	約10～7ヵ月	約7～1ヵ月	約1ヵ月～3日	3日以下
意味	十分充電されています。 安心してお使いいただけるレベルです。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。 すぐに充電してください。

- 5 **A** ボタンを押して、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。
• ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

前回の電波受信の結果を確認する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が [TME] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **A** ボタンを押す
機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果を表示します。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

- 5 **A** ボタンを押して、終了する
秒針が、秒表示に戻ります。
• ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

現在のワールドタイム設定を確認する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **ⓐ** ボタンを押す
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 5 **ⓑ** ボタンを押して、終了する
通常表示に戻ります。
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

ワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の24の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **2** にする
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 4 りゅうずを回して、地域を選ぶ
地域を選ぶと、時計/分針が動き始めます。
・針の動きが止まっているときに**ⓐ**ボタンを押すと、サマータイム設定が切り替わります。
- 5 りゅうずの位置を **0** にして、終了する

時差と代表地域について

- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の地域を設定してください。

時差	秒針	表記	代表地域	受信局
0	0秒	LON	ロンドン*	ドイツ局
+1	3秒	PAR	パリ*	
+2	5秒	ATH	アテネ*	
+3	8秒	RUH	リヤド	◆ドイツ局
+4	10秒	DXB	ドバイ	
+5	13秒	KHI	カラチ	◆中国局
+6	15秒	DAC	ダッカ	
+7	17秒	BKK	バンコク	
+8	20秒	BJS	北京/香港	中国局
+9	22秒	TYO	東京	日本局
+10	25秒	SYD	シドニー	◆日本局
+11	27秒	NOU	ヌーメア	
+12	30秒	AKL	オークランド	
-11	33秒	MDY	ミッドウェイ諸島	◆アメリカ局
-10	35秒	HNL	ホノルル	
-9	38秒	ANC	アンカレジ**	
-8	40秒	LAX	ロサンゼルス**	
-7	43秒	DEN	デンバー**	アメリカ局
-6	45秒	CHI	シカゴ**	
-5	47秒	NYC	ニューヨーク**	
-4	50秒	MAO	マナウス	◆アメリカ局
-3	52秒	RIO	リオデジャネイロ	
-2	55秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	
-1	57秒	PDL	アゾレス諸島*	◆ドイツ局

- ・表中の時差は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- ・表中の「受信局」に◆マークがついている地域は、受信範囲外のため実際には受信できません。
- ・*/**の地域では、サマータイム設定の自動切り替えが、それぞれ連動しています。詳しくは、「サマータイムを設定する」をご覧ください。

電波を手動で受信する(強制受信)



- ・電波受信には、2~15分程度の時間がかかります。
- 1 りゅうずの位置を **1** にする
秒針が30秒を指して停止します。
 - 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
 - 3 りゅうずの位置を **0** にする
 - 4 秒針が **[RX]** を指すまで、2秒間以上 **Ⓐ** ボタンを押し続ける
秒針が前回の受信結果を表示した後、**[RX]** を指し、受信が始まります。
 - 5 電波受信しやすい環境に時計を置く
・秒針が **[RX]** を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。
・秒針が **[RX]** を指している間に、**Ⓐ** ボタンを2秒間以上押し続けると、受信が中断され、通常表示に戻ります。

受信が終わると、受信結果(OK/NO)が表示され、通常表示に戻ります。

サマータイムを設定する

サマータイム設定を確認する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **ⓐ** ボタンを押す
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。

SMT ON		表示時刻は、サマータイムです。
SMT OFF		表示時刻は、標準時刻です。

- 5 **ⓑ** ボタンを押して、終了する
通常表示に戻ります。
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

サマータイム設定を変更する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **2** にする
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 4 りゅうずを回して、サマータイム設定を変更したい地域を選ぶ
地域設定が切り替わり、時計/分針が動き始めます。また、地域設定ごとのサマータイム設定が表示されます。
- 5 針の動きが止まっているときに、**ⓐ** ボタンを押す

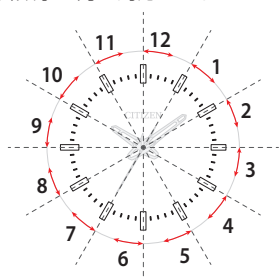
SMT ON	<ul style="list-style-type: none"> ・サマータイムが表示されます。 ・サマータイム設定の自動切り替えがオンになります。サマータイム信号の受信に応じて、自動でサマータイム設定が切り替わります。
SMT OFF	<ul style="list-style-type: none"> ・標準時刻が表示されます。 ・サマータイム設定の自動切り替えがオフになります。電波を受信しても、サマータイムは表示されません。

- ・**ⓐ** ボタンを押すごとに、選んでいる地域のサマータイム設定が切り替わります。
 - ・次の地域では、いずれかの地域でサマータイム信号を受信すると、それぞれの局でサマータイム設定の自動切り替えが連動します。
アメリカ局: ANC, LAX, DEN, CHI, NYC
ドイツ局: LON, PAR, ATH, PDL
ただし、自動切り替えをオフにしている地域については、連動しません。
- 6 手順 4、5 をくり返し、他の地域のサマータイム設定を行う
 - 7 りゅうずの位置を **0** にして、終了する

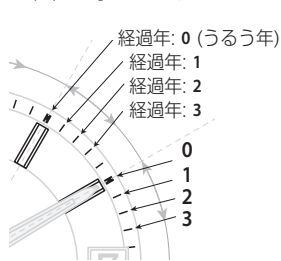
時刻とカレンダーを手動で合わせる

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [SET] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
秒針が0秒を指して停止します。
- 4 ④ ボタンを押す
時針と分針が少し動き、時刻/カレンダー合わせができるようになります。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ
 - ・ ④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
時/分/24時間 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
 - ・ 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を合わせる
 - ・ 時針/分針/24時間針は連動します。
 - ・ 午前/午後は、24時間針で確認します。
 - ・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
 - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - ・ 年と月は、秒針で表示されます。

月は、下図に示した範囲で示されます。
各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。



・ うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

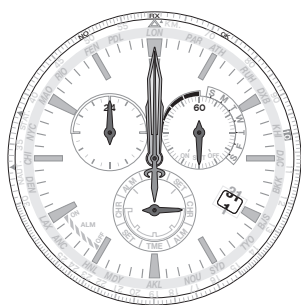
- 7 手順5と6をくり返す
- 8 時報に合わせて、りゅうずの位置を ③ にする
- 9 モードを [TME] にして、終了する

基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
針/表示が、現在の基準位置に移動し停止します。
- 4 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・ 時針/分針/秒針: 0時00分0秒
 - ・ 24時間針: 24
 - ・ 日表示: 「31」と「1」の間
 - ・ 機能表示: 「30」(真下)

基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 5 りゅうずの位置を ③ にする
- 6 モードを [TME] にして、終了する



基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ④ ボタンを押す
機能針が少し動きます。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ
 - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
 - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
 - ・ 時針/分針/秒針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60」(真上)を指します。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する
 - ・ 時針/分針/24時間針は連動します。
 - ・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
 - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 7 手順5と6をくり返す
- 8 りゅうずの位置を ③ にする
- 9 モードを [TME] にして、終了する

オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
各針/表示が現在の基準位置に動きます。
・ 針と表示の動きが止まったら、次に進みます。
- 4 ④ ボタンと ⑤ ボタンを同時に押す
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定

オールリセット後の各設定	
時刻/カレンダー	うるう年の1月1日曜日午前0時0分
ワールドタイム	LON
サマータイム	全ての地域でSMT OFF
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
受信結果表示	NO

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻/カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。

